

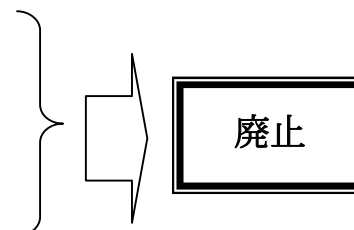
## 北九州市外郭団体経営改革プランに基づく取組み状況

## 1 外郭団体のあり方の見直し

適宜、あり方の見直しを行い、団体の廃止等、抜本的な改革を実施。

○社会状況の変化や公民の役割分担の見直し等により、外郭団体としての役割をすでに終えているもの。

○市の関与の見直しにより単体での存続が困難であり、機能が市（直営化）もしくは民間事業者を含めた他団体等で代替できるもの。



平成 18 年度 29 団体 ⇒ 平成 24 年度 24 団体

## 2 人的関与の見直し

○市派遣職員の削減・集中取組期間（H19～H22）の目標値 ▲10%

H19. 5. 1 時点	H22. 5. 1 時点	H23. 5. 1 時点	H24. 5. 1 時点
173 名	113 人	101 人	97 人
(H19 年対比)	▲60 人	▲72 人	▲76 人
	▲34.7%	▲41.6%	▲43.9%

## 3 財政的関与の見直し

○市補助金の削減・集中取組期間（H19～H22）の目標値 ▲20%

H18 決算額 (削減ベース) ①	H22 決算額			H23 決算額		
	補助額 ②	差引増減 ②-①	削減率 (対 18 比)	補助額 ③	差引増減 ③-①	削減率 (対 18 比)
3,447,986 千円	1,799,250 千円	▲1,648,736 千円	▲47.8%	1,699,007 千円	▲1,748,979 千円	▲50.7%

○市委託事業の随意契約の見直し（原則競争入札を導入）

・H22 の目標値 随意契約率 20%以下(金額ベース)※法令等に基づく随意契約等を含む

H18 決算額		H22 決算額		H23 決算額	
委託額	随意契約割合	委託額	随意契約割合	委託額	随意契約割合
うち随意契約額		うち随意契約額		うち随意契約額	
16,360 百万円	40.9%	13,230 百万円	27.6%	12,486 百万円	25.4%
6,688 百万円		3,653 百万円		3,173 百万円	

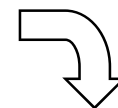
## 「外郭団体改革について」の議論の方向性（案）

### 行財政改革調査会の役割

- ◆「北九州市外郭団体経営改革委員会報告書」の提言内容の検証  
（その後の社会経済情勢の変化等を鑑み、現状がどうか）
- ◆検証によって抽出された課題の対応策等について答申

### 前回（外郭団体経営改革委員会報告書）における 見直しに向けた取り組み項目

- 1 外郭団体のあり方の見直し
  - (1) 廃止
  - (2) 存続
    - ①必要な見直しを行った上での存続
    - ②統合も視野に入れた存続
    - ③市の関与を廃止した上での存続（民営化）
    - ④現状維持による存続
- 2 自主・自立による運営体制の確立
  - (1) 自主性を持った経営体制の強化
    - ①トップマネジメントの強化
    - ②独自性を発揮できる組織運営
    - ③目標を明確にした事業の推進
    - ④経営の透明性の確保
  - (2) 自立に向けた取り組みの推進
    - ①市の関与の見直し
    - ②経営の安定化に向けた取り組みの推進
- 3 各団体の見直し
  - (1) 各団体のあり方
  - (2) 団体別見直しの提言



検証



課題抽出



答申